

第18章 福島県文化財センター白河館（まほろん）

第1節 白河館の運営状況

1 利用者数

平成23年3月11日に発生した大震災の影響で、4月1日から4月30日まで臨時休館し、5月1日に再開館した。しかし、収蔵庫及び野外展示施設は大きな被害を受け、平成23年度内には一般に公開することができなかった。

(平成24年3月31日現在)

	入館者数(人)	ホームページ・データベースアクセス件数(件)
4月	58	16,266
5月	1,938	20,884
6月	2,114	36,054
7月	2,493	21,572
8月	1,959	39,257
9月	3,598	30,357
10月	2,593	32,800
11月	2,216	19,725

12月	1,284	24,509
1月	1,190	29,060
2月	1,759	30,250
3月	1,326	21,390
計	22,528	322,124

2 入館者の内訳と傾向

1日平均来館者数	4月： 0人	5月： 75人
	6月： 82人	7月： 89人
	8月： 66人	9月： 139人
	10月： 100人	11月： 89人
	12月： 56人	1月： 52人
	2月： 71人	3月： 50人
地域別利用状況	県内者89% (うち白河市37%)	
	県外者11%	
年齢層別利用状況	入館者全体のうち、児童生徒(高校生以下)が44%、団体入館者が39%を占める。	

3 団体利用者の内訳と傾向

(単位 人)(平成24年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
幼稚園・保育園	団体数				1		2	4						7
	入館者数				14		156	164						334
小学校	団体数		14	15	5	1	21	8	7	1	5	6		83
	入館者数		542	741	358	50	1,504	595	444	28	136	365		4,763
中学校	団体数			3	1		2		1		1			8
	入館者数			128	21		193		39		168			549
高等学校	団体数							1	2					3
	入館者数							26	105					131
養護学校	団体数				1			1						2
	入館者数				12			17						29
大学	団体数								1					1
	入館者数								29					29
幼小中高PTA (保護者のみ)	団体数													
	入館者数													
幼小中高PTA (保護者と児童生徒)	団体数			2	3		3	1		1		1		11
	入館者数			97	104		122	55		79		25		482

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
研究会	団体数								2		2			4
	入館者数								35		27			62
子ども会	団体数			1	3	3	1							8
	入館者数			21	145	41	79							286
公民館等	団体数			4	2	3	4	5	6	1		3	2	30
	入館者数			97	117	61	127	73	106	17		38	64	700
福祉施設・ デイケアサービス	団体数	1	1	1	1	2		2	1		1	1		11
	入館者数	12	12	11	10	23		24	19		12	11		134
資料館等	団体数						1	1						2
	入館者数						43	52						95
歴史研究団体	団体数						1	1				1		3
	入館者数						16	40				13		69
県・市町村・ 教委・審議会等	団体数			1							2	1	1	5
	入館者数			16							28	5	9	58
その他	団体数			5	7	1	4	11	17	1	2	3	1	52
	入館者数			64	135	26	112	246	302	16	67	71	11	1,050
計	団体数	1	15	32	24	10	39	35	37	4	13	15	5	230
	入館者数	12	554	1,175	916	201	2,352	1,292	1,079	140	438	503	109	8,771
総入館者に占める 団体入館者の割合%		21	29	56	37	10	65	50	49	11	37	29	8	39

4 情報発信事業の利用者

文化財データベースアクセス件数281,889件

(平成24年3月31日現在)

(文化財データベース公開件数355,652件、文化財情報提供システム406件をインターネット上で公開し、白河館のイベント情報等もホームページで紹介している。)

5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品約47,454箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理。

写真掲載・転載の申し込み39件、出土品借受の申し込み18件。収蔵庫保管品の館内閲覧15件。

6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

区分	研修対象者	研修内容
基礎研修	教職員・市町村職員等	主に発掘調査技術の向上と整理技術の向上などをめざす
専門研修	教職員・市町村職員等	考古資料を基に、深く細やかな指導を行うための知識や技術の習得と、総合的な歴史価値判断能力の習得などをめざす
特別研修	教職員・市町村職員等	上記以外の研修(教職員を主な対象とする発掘調査研修、市町村職員等の要望に応じて随時実施する研修、無形の文化財に関する研修など)

平成23年度研修実施状況

(平成24年3月31日現在)

<期日指定研修>

参加者：合計289名

基礎研修「考古学基礎講座Ⅰ」

6月18日 参加者 6名

基礎研修「考古学基礎講座Ⅱ」

7月 9日 参加者11名

基礎研修「教職員発掘調査体験研修」二本松市
8月3日～5日 参加者15名

専門研修「専門考古学講座Ⅰ」 9月10日 参加者14名

専門研修「文化財保護指導者研修会」南会津町
9月21日～22日 参加者161名

基礎研修「無形の文化財基礎研修」10月16日 参加者 7名

専門研修「考古学と関連科学」 10月23日 参加者 9名

専門研修「専門考古学講座Ⅲ」 12月11日 参加者10名

基礎研修「考古学と地方史研究」 2月12日 参加者23名

専門研修「史跡整備研修」 2月25日 参加者12名

基礎研修「文献資料と地方史研究」3月11日 参加者 6名

<特別研修>

臨時館内研修 参加者15名

7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室、別棟として体験学習館を設けている。また、野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代竪穴住居、前方後円墳、奈良時代竪穴住居、奈良時代高床式倉庫、平安時代製鉄炉、中世館を復元展示しているが、大震災による被害が大きかったため、平成23年度には施設内部を公開することができなかった。

(1) 常時体験型体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体で体験学習を希望する場合を対象とするものを用意している。内容は、火おこし、勾玉づくり、土器づくりなどである。なお、4月は臨時休館のため、体験者数がゼロとなっている。

常時体験型体験活動状況 (平成24年3月31日現在)			
	来館者数(人)	体験者数(人)	率 (%)
4月	58	0	0
5月	1,938	1,263	65.2
6月	2,114	2,110	99.8
7月	2,493	2,010	80.6
8月	1,959	1,178	60.1
9月	3,598	2,641	73.4
10月	2,593	1,513	58.3
11月	2,216	1,563	70.5
12月	1,284	286	22.3
1月	1,190	460	38.7
2月	1,759	949	54.0
3月	1,326	571	43.1
計	22,528	14,544	64.6

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

(2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり・布づくりなどの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集し、関

連性・継続性のあるメニューを年間5回実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

・まほろん森の塾

第1回「結団式」	7月17日 参加者 5名
第2回「鹿の角で釣り針づくり」	9月23日 参加者 7名
第3回「縄文クッキーづくり」	10月22日 参加者 6名
第4回「古代の食生活体験」	11月27日 参加者 6名
第5回「解団式」	12月17日 参加者 7名

・実技講座

「まつ茶茶わんをつくろう①」	6月11日 参加者 6名
「まつ茶茶わんをつくろう②」	6月12日 参加者 6名
「カラムシから布をつくろう①」	7月 2日 参加者 7名
「カラムシから布をつくろう②」	7月23日 参加者 5名
「古代の染色にちょうどせん」	8月 6日 参加者 10名
「古代の印章をつくろう」	8月28日 参加者 12名
「カラムシから布をつくろう③」	9月 3日 参加者 5名
「鹿の角で釣り針をつくろう①」	9月23日 参加者 19名
「鹿の角で釣り針をつくろう②」	9月25日 参加者 25名
「ひょうたんから容器をつくろう」	10月15日 参加者 17名
「縄文クッキーをつくろう」	10月22日 参加者 14名
「家族で皿をつくろう」	12月17日 参加者 6名
「古錢づくり」	1月21日 参加者 24名
「縄文土器づくり上級編①」	2月 4日 参加者 15名
「縄文土器づくり上級編②」	2月 5日 参加者 14名
「ガラスと組紐のアクセサリーをつくろう」	2月25日 参加者 15名

(3) まほろんイベント

「まほろん夏まつり」	7月31日 参加者 319名
「まほろんを描こう」	9月17日～19日 参加者 42名
「まほろん秋まつり」	11月6日 参加者 275名
「まほろんもちつき大会」	12月4日 参加者 553名
「第8回双六大会」	1月14日 参加者 11名
「まほろん冬まつり」	2月19日 参加者 472名
「古代遊戯大会」	3月10日 参加者 11名

(4) 「おでかけまほろん」

文化財センター白河館の職員が、土器や体験学習器材を携えて、学校や公民館などの教育機関を訪問し、体験学習の支援をしたり、先生方と連携して授業を進めるプログラム。

平成23年度は39校で実施。参加者数は延べ1,023名。

(平成23年度実績：いわき市田人第一小学校、いわき市田人第二小学校、いわき市石住小学校、浅川町山白石小学校、郡山市行健第二小学校、福島市中野小学校、福島市茂庭小学校、福島市土湯小学校、郡山市柄山神小学校、福島市蓬莱東小学校、田村市上大越小学校、本宮市糠沢小学校、鏡石町鏡石第二小学校、郡山市小山田小学校、塙町高城小学校、いわき市平養護学校、田村市古道小学校、田村市岩井沢小学校、伊達市堰本小学校、南会津町館岩小学校、下郷町檜原小学校、郡山市須賀川養護学校、郡山分校、伊達市小国小学校、田村市船引南小学校、郡山市喜久田小学校、新地町福田小学校、南相馬市大甕小

学校、南相馬市矢沢小学校、南相馬市高平小学校、南相馬市太田小学校、南相馬市原町第二小学校、南相馬市福浦小学校、平田村蓬田小学校、三春町中妻田小学校、川俣町川俣南小学校、いわき市高野小学校、田村市関本小学校、いわき市好間第四小学校、平田村西山小学校)

(5) まほろん出前講座

公民館等生涯学習施設を対象として、弓矢体験、勾玉づくりなどの体験学習を実施するプログラム。平成23年度は5か所で実施し、194名が参加した。(平成23年度実績：鮫川村鮫川公民館、会津坂下町会津坂下中央公民館、本宮市白沢公民館、喜多方市喜多方中央公民館、金山町金山中央公民館)

(6) まるごとまほろん

文化財センター白河館に所蔵する発掘資料を、発掘調査をした付近の施設で展示するとともに、火おこし、勾玉づくりなどの体験学習も実施するプログラム。平成23年度は2か所で実施し、385名が参加した。(平成23年度実績：白河市表郷総合運動公園、大玉村あだたらふるさとホール)

(7) 講座・講演会

館長の講演会、白河館の学芸員などが講師となる「まほろん文化財講座」を開催した。

- ・館長講演会 シリーズ『歴史は知恵の森』

第1回 「東日本大震災に思う」

10月22日 聴講者 38名

第2回 「藤本前館長の思い出」

12月17日 聴講者 30名

第3回 「日本における世界遺産の現状」

2月18日 聴講者 53名

- ・館長講演会 開館10周年記念

「まほろん10周年によせて」 7月17日 聴講者 30名

- ・文化財講演会

「複式炉と堅果類から見た縄文時代」

6月25日 聴講者 15名

「浜通りの原始・古代 いわき市を中心とした貝塚文化」

9月17日 聴講者 29名

「災害と考古学 I 遺跡が語る地震の歴史」

10月5日 聴講者 70名

「災害と考古学 II 災害とリスクマネジメントのための考古学」

11月26日 聴講者 30名

「農耕社会の成立」

1月21日 聆講者 31名

「亀ヶ岡文化の魅力」

3月24日 聆講者 27名

- ・文化財に関する上映会

「竹縄のさと・越前和紙」 1月29日 観覧者 10名

8 常設展事業

常設展示室では、収蔵遺物や復元品を、「見て、触れて、考え、学ぶ」というプロセスを通じて理解しやすい形で展示している。

常設展示は、次の各展示コーナーにより構成される。そのうち、「話題の遺跡」「みんなの研究ひろば」「しらかわ歴史名

場面」「ふくしまの宝物」については年間数回程度の展示替えを行っている。

- めぐみの森(導入部)
- 暮らしのうつりかわり
- 暮らしをさえた道具たち
- 遺跡を掘る
- 話題の遺跡(最新の話題になった遺跡の発掘調査成果等を紹介する)
- みんなの研究ひろば(体験学習などを通して得られた成果や、児童、生徒、一般研究家の研究成果等の発表の場として活用する)
- ふくしまの文化財
- のぞいてみよう福島の遺産
- しらかわ歴史名場面(白河地方の文化財を集め、白河地方の歴史の一コマを展示する)
- クイズふくしま歴史発見
- ふくしまの宝物

9 企画展事業

特別展示室では、指定文化財展・収蔵資料展などの企画展を開催している。

(1) 企画展

- ・収蔵資料展「新編陸奥国風土記 卷之九 安達郡」
5月1日～7月3日 観覧者 4,256名
- ・収蔵資料展「発掘された浜通りの遺跡(原始～古代の村)」
7月16日～9月25日 観覧者 6,672名
- ・収蔵資料展「発掘された浜通りの遺跡(古代～近代の産業)」
10月5日～11月20日 観覧者 4,326名
- ・収蔵資料展「器(うつわ)の変遷」
11月26日～2月19日 観覧者 4,165名
- ・指定文化財展「ふくしまの重要文化財IX 三島町荒屋敷遺跡」
3月10日～5月20日 観覧者 959名 (平成23年度観覧者)

(2) 移動展

- ・収蔵資料展「新編陸奥国風土記 卷之九 安達郡」
二本松市歴史資料館 6月19日～8月17日 観覧者 353名
- ・まほろん開館10周年記念パネル展
「ありがとう10周年 まほろんのあゆみ」
福島県立図書館 7月8日～8月3日
- ・企画展「まほろん収蔵資料展～原始・古代の土器・石器～」
福島県立図書館 1月6日～2月29日

(3) 復元品製作研究

「まほろん」では、出土した埋蔵文化財を分かりやすく展示するため、出土資料と復元資料とを並列して展示する手法を採用している(「復元資料並列展示」)。これは、「まほろん」独自の展示手法として、館の目玉となっている。このための復元品製作研究をしている。

- ・平成23年度 古墳時代馬具(面繫・環状鏡板付轡・手綱)の復元製作 (いわき市中田横穴出土)

10 ボランティア運営事業

(1) 「まほろんボランティア」の活動状況

- ・施設・展示の案内
- ・体験学習用機材の整備など
- ・ボランティア連絡会（2回開催）

(2) 登録数

個人ボランティア 43名

